

事業計画書

施設名	春日学園		
サービス種別	障害児入所施設		
住所	〒669-4132 兵庫県丹波市春日町野村65の1		
電話	電話 0795-75-1080	fax 0795-75-0377	
施設の目的	<p>障がい児に対し、「保護、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与及び集団生活への適応訓練」を行うとともに、「重度・重複障がいや被虐待児への対応を図るほか、自立（地域生活移行）のための支援の充実」を図ります。また、身近な地域の障害児支援の専門施設として、通所利用の障がい児への支援だけでなく、地域の障がい児、その家族を対象とした支援を行います。</p>		
利用者定員	40名(入所30名・DS10名)	職員定数	16名(入所13名・DS3名)
事業開始日	昭和 36年 2月 1日		
1 運営方針	<p>春日学園は「子どもの安心・安全・自信・自由」を指針に子どもたちの自己肯定感を育成するため、子どもたち其々の個性を尊重しつつ、自己決定の場面を増やし、自立へのはっきりとした意志を育みます。また、本年度も継続して「放課後等デイサービス事業」「障害児等療育支援事業」「短期入所事業」「日中一時支援事業」に於いて包括的な地域福祉の具現化に取り組むこととし、以下の重点項目の実現を目指します。</p> <p>【重点項目】</p> <p>(1) 入所希望者の実態の把握と入所への推進 兵庫県下では、何れの児童施設に於いても入所希望者が減少傾向にあります。各こども家庭センター等の関係機関と連携を密にするとともに情報を共有し、入所希望者の実態を把握し、入所に繋げていきます。</p> <p>(2) 在宅サービスの充実 4年目を迎える「放課後等デイサービス事業」は、現在、丹波市内の各中学校の特別支援学級の生徒数が増加しているため、現在10名の定員の増員を検討します。また、その支援内容においても、音楽療法やレクリエーションを取り入れ、各自の個別支援計画に基づいた支援を展開します。</p> <p>(3) こども達の心のケア 思春期独特の閉塞感や苛立ち、恋愛感情や自己表現を理解しつつ、自己肯定感を育めるように支援します。また、近年多くなりつつあるこども達のリストカットについても研究します。</p> <p>(4) 地域移行の推進 平成30年度の制度改正に向けて、法人内各成人施設やグループホームと連携を密にしながら学卒児の地域移行を推進します。</p> <p>(5) 情報発信 広報誌、ホームページでの、取り組みやこども達の日々の様子などの情報発信をより充実させます。取り組みや日々の様子だけでなく、地域貢献等の情報も発信していきます。</p> <p>(6) 地域貢献 絵本の読み聞かせ、親子遊びを継続するとともに、28年11月から実施しているポップコーン（こども食堂）の更なる充実を図ります。今年度の親子遊びでは、イベントを開催します。</p> <p>(7) 防犯対策</p>		

字園建物外側4か所に防犯カメラを、スタッフルーム内にそのモニターを設置します。また、丹波警察署と連携し、防犯訓練を実施します。

(8) 第三者評価

公正・中立な第三者機関による専門的かつ客観的な第三者評価を受けることにより、事業所全体のサービスの質の向上を図ります。

2 利用者へのサービス

(1) 年齢に合わせた取り組み

幼児期、小学部、中学部、高等部と、こども一人ひとりの年齢に合わせた支援をします。ADLの向上など日々の支援をより充実させたサービスを提供します。個別支援計画を主としたケース検討会をより一層充実させ、こども達と一緒に「まず、やってみる」、「やってみてどうだったかな」、「次はこうしてみよう」を考えます。こども達一人ひとりの一日を、食事や入浴等の生活訓練動作や余暇時間をそれぞれピックアップし、生活の流れの中で支援するよう目標設定を考えていきます。

(2) こども達の心のケア

思春期におけるこども達の様々な気持ちをくみ取り、自己肯定感を高める支援をします。異性との関わりについては性教育を通して、専門の講師などを呼びこども達に学んで頂く機会を設けます。また、自分の気持ちをうまくコントロールできなかつたり自己表現が難しかったりすることがリストカットへ繋がっているこども達。心のケアについての勉強会や研修に参加し、職員も知識を深めるとともに、「こんなときどうする?」とこども達で考え話し合う場を設けていきます。

(3) 特性への理解とサービスの提供

昨年度から進めている自閉症研究を通して、自閉症や発達障害への知識を深めます。研修の参加や勉強会の実施を通して、それを日々の支援に活かします。時計を見て行動できる、他者とのコミュニケーションがより充実するなど、こども達にとって楽しい毎日をサポートします。また、スヌーズレンルームもリニューアルし、癒しの場を提供します。

3 給 食

#####

4 健康管理・災害訓練等・会議

実施月	健康管理	災害訓練等	会議
5	健康診断・結核検診	法定点検【届出】	
6	腰椎検査(職員)	総合訓練(避難・消火・通報)	
11	健康診断(利用者・職員)	総合訓練(避難・消火・通報)	
	インフルエンザ予防接種	災害備蓄品更新	
	歯科検診(年齢超過児)	法定点検	
1	腰椎検査(職員)		
毎月	嘱託医往診(精神科)	避難訓練	企画・職員・給食会議
	嘱託医往診(その他の科)	消火訓練	生活指導委員会
			ケース検討会議
			合同給食委員会
			学校連絡会議
	歯石除去・ブラッシング		RM会議

随 時		防火管理委員会
		判定会議
		各機関との調整会議

5 職 員 研 修

(1) 施設内研修

予定月	研 修 議 題	研 修 内 容	備 考
4	諸規則、業務について	規則、業務マニュアルの説明	新任職員
	個人情報及び権利擁護	利用者への対応や言葉かけ	全職員
	虐待防止について	施設内虐待の防止	全職員
5	性教育講習	性について学ぶ	全職員
6	防火講習	防火に関する講習	全職員
7	業務の振り返り	3か月を経過して個々の疑問	新任職員
8	救命救急講習	施設内緊急対応について	全職員
10	業務を通じての疑問点	着任6か月を経過しての疑問	新任職員
11	救急救命講習	心肺蘇生法	全職員
12	虐待防止について	施設内虐待の防止	全職員
1	安全運転研修	交通安全について	全職員
2	性教育講習	取り組みについての振り返り	全職員
随 時	防火・防災訓練	防火設備・器具の取扱い・避難訓練・消火訓練	
	救急研修	てんかん発作時の対応・酸素吸入器・AEDの取扱い	
	人権擁護委員会	人権擁護に関する研修等	
	コンサルテーション	ご利用者の特性理解のための研修会	
	コンサルテーション	実際の支援や関わり方への助言	
	コンサルテーション	ケースカンファレンス（事例検討会）	
	コンサルテーション	支援をスムーズにしていくためのシステム作り	

(2) 施設外研修

専門職育成計画として、児童発達支援管理責任者研修に1名（5年経験者）を予定しています。自閉症や発達障害、こども達の心のケアに関する研修や、県内児童入所施設（同種事業所）等への見学も行います。また、昨年度同様「事例発表」についても積極的に参加します。栄養士については栄養クッキング教室等の実践的な研修に参加します。

昨年度に引き続き、児童発達支援管理責任者のレベルアップのため、兵庫県児童発達支援部会の交流研修にも参加することとしています。

6 行 事 等

実 施 月	行 事 名	実 施 場 所	内 容 等
4	春の遠足	春日町内	季節行事
	入進学お祝い会	施設内	入進学児童のお祝い
5	春の里フェスティバル	施設内外	地域・家族・施設間交流
7	七夕祭	施設内	季節行事
	蛍観賞	春日町内	夏休みの遊び
8	海水浴・プール	丹波市内	季節行事
	宿泊体験（就学部）	丹波市・篠山市内	リクエスト行事
	地区夏祭り	春日町内	地域交流事業
10	春の里スポーツの集い	施設内	施設間交流事業
	秋の遠足	春日町内	季節行事
	棚原地区祭礼	春日町内	地域交流事業
11	ウォークラリー	施設内	体力づくり
	バス旅行	姫路セントラルパーク	教養娯楽
12	職業部忘年会	丹波市内	季節行事
	クリスマス会	施設内	季節行事
1	書き初め	施設内	季節行事

1	初えびす	春日神社	季節行事（地域交流事業）
2	節分祭	施設内	季節行事
	厄除祭	丹波市内	季節行事
	ウィンタースポーツ体験	豊岡市	リクエスト行事
3	ひな祭り	施設内	季節行事
	修卒お祝い会	施設内	修卒児童のお祝い
随 時	春日地区更生保護女性会	施設内	地域交流事業
	地域イベント参加	丹波市内	リクエスト行事
	お菓子作り	施設内	自立訓練
	調理実習	施設内	自立訓練
	ドライブ	丹波市内	リフレッシュ行事

7 余 暇 活 動

実 施 月	ク ラ ブ 名	実 施 場 所	内 容 等
毎 月	バスケットボール部	施設内	余暇時間に実施
	サッカー部	施設内	余暇時間に実施
	営農部	施設内	自家用野菜での食事
	文化部	施設内	文化祭への参加

8 ボ ラ ン テ ィ ア 受 入 れ

受 入 月	グ ル ー プ 名	内 容 等	予 定 人 員	備 考
5	学生ボランティア	春の里フェスティバル	5名	春育合同
	地域ボランティア	春の里フェスティバル	5名	春育合同
	浄土真宗本願寺派東組	春の里フェスティバル	10名	春育合同
8	学生ボランティア	夏休み中の支援補助	3名	
10	保護者等	春の里スポーツの集い	10名	春育合同
随時	春日支部更生保護女性会	調理実習	20名	

9 機 関 誌 等

区 分	内 容
種 類	春日学園広報誌・放課後等デイサービス広報誌・ホームページ・ブログ
発 送 先	保護者、市社協、大学等、こども家庭センター、支援学校他
発 行 月	毎月
部 数	100部（広報紙）
内 容 等	施設の近況報告（事業の予定と報告、児童の状況、苦情・要望の受付と報告）

10 資 金 計 画

平成29年度資金収支予算 内訳表の通り

